

23年度予算を可決

第1回定例会
で
決まりました

平成23年第1回定例会は3月1日から23日まで、会期23日間で開催されました。今回の定例会では、平成23年度予算、「瑞穂町精神障害者共同作業所の設置及び管理に関する条例」など、合わせて33件の町長提出議案と、「瑞穂町議会委員会条例の一部を改正する条例」など2件の議員提出議案を審議し、すべて原案どおり可決および同意しました。

今回の議会には、平成23年度一般会計・各特別会計の予算が提案されました。予算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成多数で、また、9件の特別会計については、すべて全会一致で可決しました。

町長が予算案を提出



石塚町長が予算案を説明

23年度予算編成にあたり、町長からは「歳入では、町税の徴収率は前年度水準を維持すること。財源確保に向けた努力を行うこと。歳出では、行政評価に基づき、事業の見直し、廃止および縮小に取り組むこと。経費については、前年度決算額以下に抑制すること。新規事業については、十分な効果予測を立て、国、東京都および各種団体などからの補助金・助成金を確保した上で要求すること。」などを各担当に指示したとの説明がありました。

予算特別委員会で審査

町側からの提案を受けた議会では、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に小池信一郎議員、副委員長に下野義子議員を選出。議長を除く16名により、3日間にわたって審査を行い、議員からは延べ168件の質疑がありました。

本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成13名、反対3名で可決しました。9件の特別会計については、すべて全会一致で可決しました。



委員会での審査の様子

おもな新規事業

- ・地域交流拠点事業（高齢者）
- ・英語検定
- ・耐震改修促進計画策定
- ・新青梅街道沿道まちづくり基本計画策定
- ・西多摩郡町村電算共同システム

おもな建設事業

- ・（仮称）長岡コミュニティセンター新築工事（第二期）
- ・狭山地区学習等共用施設（箱根ヶ崎南会館）改修工事
- ・三小校庭芝生化工事
- ・五小校庭芝生化工事設計
- ・スカイホール外壁補修等工事
- ・国民体育大会競技施設整備工事（いこいの広場第二期）

各会計の予算額

会計名	予算金額	前年度比
一般会計	138億6,420万0,000円	3.5%増
特別会計		
国民健康保険	38億4,043万6,000円	0.9%減
駅西土地区画整理事業	3億8,949万2,000円	50.9%減
下水道事業	10億3,267万9,000円	15.5%減
介護保険	15億8,186万7,000円	3.5%増
後期高齢者医療	4億4,383万2,000円	3.1%増
殿ヶ谷財産区	458万7,000円	0.1%減
石畑財産区	2,373万7,000円	35.6%増
箱根ヶ崎財産区	696万6,000円	4.4%減
長岡財産区	97万2,000円	52.6%増



起立採決の様子(本会議)

一般会計予算における予算特別委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)

賛成

下野 義子議員

23年度は町税の減収が見込まれるが、交付金などの増額や町債で財源確保が図られ、第4次長計の実施初年度として、予防接種事業の拡充など福祉施策の拡充、コミュニティの場の確保、学力向上策の強化など、積極的な取り組みが図られている。健全財政の堅持と効率的な財源配分による、質の高い住民サービスが図られていると評価する。併せて、未曾有の震災に対し、積極的な支援がなされることを望む。

反対

大坪 国広議員

介護保険制度も12年目を迎え24年度第5期制度改革に向け、保険料・利用料の町独自の軽減策を実施すべき。子ども医療費完全無料化は、1、260万円で23区と同じ水準になる。少子化対策の為にも実施すべき。子どもを貧困と格差から守るために、更なる父母負担軽減策を実施すべき。新駅が前提となる栗原地区の区画整理は、新駅の見通しがつくまで一時凍結するべきである。